

No	感染症(PT)	出典	概要
319	感染	ProMED-mail20070217.0597	トリインフルエンザの専門家が北バングラデシュでの3名の原因不明の死亡を調査するチームに参加しているとBSS通信社が2007年2月14日に報告した。バングラデシュでは今までトリインフルエンザの症例は報告されていない。死亡例の内、2名は夫婦である。他に2名が重症で入院中である。全員同じ村の出身である。
320	感染	ProMED-mail20070419.1284 PressTV 2007年4月18日	イラン当局によると、イラン南東部で7人が死亡した疾患の原因は依然として不明である。症状は発熱、咽頭痛、リンパ腺の炎症、全身痛であるが、コレラやH5N1トリインフルエンザではないとしている。
321	感染	ProMED-mail20070521.1627 Caboodle.hu 2007年5月21日	ハンガリーで原因不明の疾患に1家族15人が罹り、2007年5月19日にその内1人が死亡した。死亡したのはKecskemetの49歳男性で、家族のうち数名は軍隊に入っており、1名は外国にいた。高熱とインフルエンザ症状を呈し、入院した。この家族は病院で隔離されている。現在、病気を同定するための検査が行われている。
322	感染	ProMED-mail20070529.1735	中国で青耳病として知られる原因不明の疾患および口蹄疫によりブタが大量に死亡しており、豚肉の価格が高騰している。2006年半ばに1例目が発見されたブタ高熱病は、豚生殖器呼吸器症候群、古典的豚コレラおよび豚サーコウイルスの混合感染が原因とされている。最近2、3年の間に、ブタ高熱病と呼ばれる同様の感染症が中国南部でも報告されている。微生物学者による詳細調査が行われる予定である。
323	感染	ProMED-mail20070709.2189	中国北東部で2007年6月下旬以来、ギランバレー症候群が30症例報告されている。患者は全員Jilin省ChangchunのShuangyang地区の出身で、状態は安定している。この病気の正確な原因は不明であるが、専門家によると呼吸器感染または胃インフルエンザが引き金になる可能性があるとのことである。
324	感染	ProMED-mail20070909.2978	ブラジルのMarajo島で、原因不明の疾病により10日以内に子供4人が死亡したが、4歳の少女が5人目の犠牲者となった。先週死亡した小児の姉妹で、家族によると、高熱、嘔吐、痙攣といったマラリアまたは髄膜炎を示唆する症状を示した。予備検査では診断が確定しなかった。疾患を媒介する昆虫を探索中である。
325	感染	ProMED-mail20071003.3271	パナマ地域当局はNgobe-BugleのNurum地区で原因不明の病気で42人が死亡したと報告した。死亡例の大部分は小児である。病気は鼻水、咳、発熱から始まり、致死的な場合は気管支肺炎様の症状を呈する。
326	感染	ProMED-mail20071009.3318 The Telegraph 2007年10月7日	国境付近の無医地区で原因不明の病気により、7人が死亡したため、インドManipurは非常事態となった。2007年10月1-6日に国境に沿った村で病気は急速に広がったため、Morehに医療団が派遣された。患者は高熱、胃痛、嘔吐を訴え、犠牲者の幾人かは死ぬ前に痙攣と発作を起こした。原因はまだ究明されていない。
327	感染	The Himalayan TIMES 2007年3月20日	ネパール保健省は2007年3月18日に不可解な疾患により死亡した32歳の女性の報告を受け、3月19日に病院から医療・検査チームを派遣した。女性は貧血と腎不全も呈していた。村民数百人が下痢、手足の腫れを訴えている。毒素を持った細菌感染の可能性がある。現在、検査中である。
328	感染	The National (http://www.thenational.com.pg/021907/nation1.htm)	パプアニューギニアのSouthern Highlands地方で女性3名が汚染された豚肉を食べて死亡した。まだ同定されていない疾病のアウトブレイクで約1000頭のブタが死亡している。ブタは首の腫れ、インフルエンザ様症状、発熱を呈し、体の一部が壊死し、数日で死亡する。他の動物種も同様の症状を呈した後、死亡した。
329	感染	Transfusion 2007; 47: 2338-2347	2007年3月29-30日、カナダのトロントで行われた病原体不活化(PI)技術に関するコンセンサス会議の報告である。近年の検査技術の発達により、現状の輸血感染症リスクは非常に低く、PIを直ちに導入する事は推奨しない。しかし新興感染症のリスクは未知数であり、PIは予防手段として重要である。広範囲の病原体を不活化できる安全な方法が確立されれば実施すべきである。